学校番号	T1202

令和８年度　理科

教科	理科	科目	科学へのいざない	単位数	１単位	年次	２～４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	自作授業プリント、視聴覚教材、実験器具など						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業はプリントで学習します。授業プリントは実施ごとに回収し、評価の対象とします。毎回しっかりと取り組みましょう。毎回前回の振り返りの小テストを実施します。しっかり取り組みましょう。また、授業への取り組み状況も評価の対象となります。遅刻や欠課をせず、しっかりと出席しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
身近な自然現象、自然科学について理解できるようになるとともに、基本的な実験操作のための技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
科学の楽しさを体験し、興味や関心を高め、そのときに出た疑問を検証・考察するための判断力を育むとともに、自身の言葉で表現できる力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
身近にある物質や事象について自身が抱いた疑問を主体的に探究し、それを解決しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然科学についての基礎的な概念や原理・法則などを発見した科学者の逸話などを取り上げて親しみをもたせた上、理解する。また生徒実験を行うことで基本操作について慣れさせる。	実験で気づいたことや、古来の科学者が導き出した自然科学の法則から、自身が抱いた疑問を検証し、その結果から自分の考えをまとめさせ発表する能力を身につける。	身近にある身の回りがなぜあるのか、誰が発明したのかなどの疑問を自身で解決するための知識や技能を身に付ける能力を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
半期	物理	・物理の基本的法則の発見者の名前、歴史 ・オームの法則	a:基礎法則の発見者の名前が書ける。 b:オームの法則を用いた計算ができる。 c:オームの法則の実験を積極的に取り組む。	・小テスト	・考査 ・プリント ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・プリント
	化学	・化学の基本的法則の発見者の名前、歴史 ・元素記号の発見者の名前、歴史 ・ろ過、蒸留の操作	a:基礎法則の発見者の名前が書ける。 b:実験前に結果の予測をし、自分の考えを発表することができる。 c:ろ過、蒸留の操作で混合物から純物質に分離することができる。	・小テスト	・考査 ・プリント ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・プリント
	生物	・生物の基本的法則の発見者の名前、歴史 ・細胞、細胞分裂など	a:基礎法則の発見者の名前が書ける。 b:実験前に結果の予測をし、自分の考えを発表することができる。 c:ｂで出した予測を実験で確認し、発表することができる。	・小テスト	・考査 ・プリント ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・プリント
	地学	・地学の基本的法則の発見者の名前、歴史 ・日本の天気についてなど	a:基礎法則の発見者の名前が書ける。 b:日本における天気図の読み取りができる。 c:ｂから自身で天気図を書くことができる。	・小テスト	・考査 ・プリント ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・プリント
	環境	・地球環境に関して ・地球温暖化について ・上記の内容の講義後テーマを1つ選択して調べ学習	a:ＳＤＧｓの１７の目標が理解できる。 b:ａから自身が地球環境を保つために何ができるか答えることができる。 c:ｂで出てきた疑問に対しての解答を自身の意見で述べることができる。	・小テスト	・考査 ・プリント ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度